

## 病院の概要

- 医師数（研修医を除く）39名（うち指導医数 20名）
- 研修医数 1年目 5名 2年目 4名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学・川崎医科大学・熊本大学・昭和大学・聖マリアンナ医科大学・東京大学・東邦大学・新潟大学・日本大学
- 診療科 内科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科 内分泌代謝科 リウマチ科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 肛門外科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 精神科 リハビリテーション科 麻酔科 消化器外科 救急科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 647.5名 ● 1日平均入院患者数 253.3名
- 主な認定施設 日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定教育施設、日本腎臓学会研修施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本呼吸器学会認定関連施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設



## 研修プログラムの特色

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

三郷市は近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、当院は老人はもちろん青壮年・婦人・小児を含めた多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできる事が特徴です。



### プログラム例 卒後臨床研修 地域医療総合プログラム(募集定員8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	総合内科		外科			総合内科			救急		整形外科		
2年目▶	小児科	産婦人科	精神科	地域医療			選択						

- ・ 基幹型臨床研修病院での研修期間は最低52週
- ・ 協力施設での研修は最大12週
- ・ 必修科目（内科計24週、外科8週、整形外科8週、救急8週+急外来・当直研修4週、地域医療12週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週）
- ・ 選択科目（上記科に加えて、総合内科、循環器内科、消化器内科、泌尿器科、臨床病理科、麻酔科）

## 研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：354,000円/月、2年次：400,000円/月
- 諸手当▶ 当直手当(1年次20,000円、2年次32,000円)、家族手当(最初の1名12,000円、以降1名につき8,000円)
- 保険▶ 組合健保（東京医業健保組合）、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 8時30分～17時30分
- 当直▶ あり（2~4回/月）
- 休暇▶ 日祭日、土曜日午後、土曜日午前は隔週で休み（4週6休）、夏期休暇（5日間）、年末年始休暇（5日間）、年次有給（初年度10日間）他あり
- 宿舎▶ 希望者は病院徒歩2分の寮に入寮可
- その他▶ ・ 給与は住宅・研修手当込み、2020年度実績。働き方改革による処遇変更を検討中。  
・ 法人独自の共済制度あり  
・ 学会保障あり（費用：年間10万円まで、日数：年間7日まで）  
・ 採用された研修医に対し、月の給与額を上限として引越し料金を支給

### 主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・ 松戸市立総合医療センター
- ・ 東京女子医科大学東医療センター
- ・ 柳原病院
- ・ 豊島病院
- ・ 東京都健康長寿医療センター
- ・ グループ内医療機関多数



## 当院の魅力



### 研修プログラムの特徴

1年目の総合内科の研修は連続して4ヶ月の研修を行うことで、入院から退院まで多くの症例を一連で経験することができます。

また、整形外科を必修としています。地域病院として腰痛や関節痛を訴える患者さんが多く、プライマリ・ケアの部分で今後の専門分野によらず、初期研修のうち2ヶ月は経験をしてほしい、との思いから必修として組み込んでいます。

2年目の地域医療研修は3ヶ月を必修とし、都内100床規模の協力型病院で地域に密着した研修として組み込んでおり、外来診療や訪問診療を通じてプライマリ・ケアを学ぶ機会としています。

外来研修は、1年次後半の8ヶ月と地域医療の3ヶ月で週1単位の外来枠を持つようにしているため、初診の患者さんや慢性疾患の管理を継続的に学ぶことができます。

研修指導の特徴として、指導専任の医師を配置しています。総合内科は週2回、救急は週1回、それぞれベッドフリーの指導専任医が指導にあたっています。指導医がベッドを受け持っている、どうしても忙しいタイミングなどで相談しにくい場面も出てきますが、指導専任医を配置することで、ショートプレゼンなどを通じてコンサルトを行ったり、じっくりと時間をかけて問題解決を行うことができます。

### 研修責任者から



みさと健和病院院長/  
初期研修プログラム責任者  
**岡村 博**

私たちはずっと初期研修を大切にしてきました。1994年に臨床研修病院の指定を受けましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました（私もその一人です）。当時、大学病院が主流の中、最小の病床数で指定を受けることができたのは、外来研修や往診研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたのだと思います。研修制度に移行後、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅するプログラムを作ってきました。

どんな医師になりたいのか、自分の進むべき方向を決める時期が初期研修期間であり、臨床研修病院はその手助けをするところです。初期研修の目標は医療技術の獲得だけではなく、チーム医療の実践、患者さん目線の思考、取り巻く環境への配慮など、bio-psycho-socialといわれる複合的な問題解決能力の獲得も含まれます。

地域の人たちの健康を守り、病める人たちの支えになりながら、実は自分たちも成長させてもらっているのです。臨床研修というものはずっと続いていくものであり、そういう視点を大切にしながら、常にon the job trainingの気持ちを持ち続けたいものです。

### 先輩研修医から



外科専攻医  
**栗原 惇**

2019年度に当院初期研修を修了し、現在、外科専門医の資格取得を目標に日々頑張っています。

当院では救急や当直、外来を通じて、患者さんのファーストタッチを経験できます。主訴は何かを丁寧に聞き取り、それに対して適切な処置・対応をする事が治療の第一歩となるためとても重要です。

病棟では診療科が細分化されていないため、総合診療内科として幅広い疾患を経験出来ます。1つの科で2カ月以上ローテーションするため、自分のペースで確実に診療能力を身に付けることが出来るのも利点の一つです。鑑別疾患を挙げ、必要な検査を行い、治療方針を立て、実際に治療していくという一連の診療行為に対して、コメディカルスタッフと共にチームの一員として携わることで、責任感を持って仕事に取り組むことが出来ます。もちろん、何をやるにしても上級医がついているため必ずフォローをしてもらえますし、フィードバックがあるため確実にステップアップしていくことが出来ます。

また、患者さんの普段の生活環境における問題点にも着目し、理学療法士や社会福祉士のスタッフと退院後のフォローアップについて考える機会も多々あります。入院・治療・退院・その後のフォローアップに至るまで、担当医として患者さんに深く関わることが出来ます。

医療過疎地の埼玉では、場に応じて適切な対応を行える医師が必要とされています。そんな医師を目指して私達と一緒に働いてみませんか？



### 女性医師支援コーナー

子育て中の方は、当直や勤務時間についてはプログラム修了を目指して相談に応じます。

- ・院内保育…にこにこ保育園では、0～3歳児までのお子さんをお預かりします。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。
- ・病児保育…0～9歳までのお子さんをお預かりします（感染症又は感染症疑いは除く）。お子さんの体調が悪い時なども休まず働くことが可能です。

### 連絡先 みさと健和病院

医局事務室 医学生担当

〒341-8555 三郷市鷹野4-494-1

TEL 048-955-7171 (代表)

FAX 048-948-0007

E-mail gakusei@kenwa.or.jp

URL http://gakusei.kenwa.or.jp/

アクセス JR/新京成松戸駅よりバス12分、JR/京成金町駅よりバス15分、つくばエクスプレス三郷中央駅よりバス12分



### 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・当院は平日随時・希望内容応相談・交通&宿舎補助ありで受け入れています。まずは左記までお問い合わせください。
- ・web研修説明会を平日の希望日時にて開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。